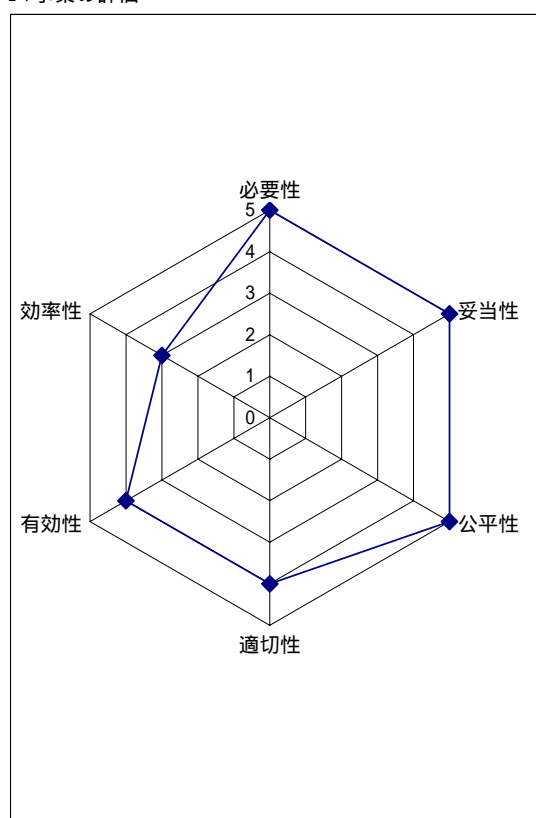


事務事業名	市道排水整備事業	担当部局	市長部局 都市建設部
基本目標	美しいゆとりある快適環境と景観づくり(環境・都市基盤)	担当課名	土木課
施策体系	安全で快適な暮らしづくり(生活道路整備)	担当係名	維持係
施策	身近な道路の整備を進める		

1. 事業内容

事業本来の目的と具体的内容	市民より道路の水溜り解消要望があり、新設と老朽箇所の雨水排水整備をすることにより、生活環境の改善と交通の安全が図られる。		
事業の期間(開始/終了)	年 月 / 99 年 99 月		
根拠法令、条例、規則など	道路法、道路構造令		
事業が対象としている人(モノ)	市道排水整備		
具体的な活動内容	市民等の要望を現地調査・確認する。		
	危険性・経済性より、早急対応か否かを判断する。		
	測量と設計及び積算をする。		
	現場監督。		
事業の成果	早急に現場確認をした。		
	早急か否かの判断を上司に求めたときもあった。		
	設計・積算はベストであった。		
	設計図書どおり、工期内に完了した。		

2. 事業の評価



項目	説明
必要性	5 ますます必要性は高くなっている
	住民からの要望が多く、交通の安全性と生活環境を考慮すると、緊急度は非常に高い。
妥当性	5 行政以外にはできない事業である
	道路管理者の責務である。
公平性	5 広い範囲に対して便益を提供しており、偏りは見られない
	市道認定道路の整備であるので、偏りはない。
適切性	4 現在のやり方(手段)が一般的であり、特に問題はない
	いろいろなやり方があるが、限られた予算内での対応なので、これ以上のものはできない。
有効性	4 概ね目標水準に達している
	交通の安全性かつ生活環境の向上が図られている。
効率性	3 どちらとも言えない
	コスト優先にすれば、耐用年数は短いものしかできない。

総合評価	舗装工事の時点では、排水が可能であった農地等も、今となって排水を拒み、土盛りをしてしまうなど、排水流末のない深刻な水溜り道路が増えている状況であり、道路管理者としての責務や住民からの苦情の対応に苦慮している。
------	--

3. 今後の事業の方向性

所属長判断	事業の方向性判断	短期的方向	維持継続	中長期的方向	維持継続
	説明	排水整備については、地域住民の環境改善を図るため、管理体制を強化し、今後とも年次計画で整備する。			
決定権者判断	決定内容	維持継続			
	説明	予算の範囲内にて、緊急性・必要性など考慮し、年次計画にて進める。			